

## 第1章 基本的な考え方

国では、平成13年12月に制定した「子どもの読書活動の推進に関する法律」の基本理念の中で、「読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で、欠くことができないもの」としています。

平群町では、町内のすべての子どもたちの健やかな成長を支え、等しく読書の機会に恵まれるよう、下記の基本方針に沿って、積極的に子ども読書活動を推進していきます。

### 1 赤ちゃんから中学校までの一貫したシステム

乳幼児期のブックスタートにはじまり、家庭での子育て、保育園、幼稚園、小学校、中学校を卒業するまでに、ことばを学び、コミュニケーション能力、考える力、創造力を身につけていくことが望まれます。このようにトータルな子どもの成長を視野に入れ、赤ちゃんから中学生まで、それぞれの段階に沿った仕組みを構築し、子どもたちが、生涯を通じて読書に親しむ習慣を身に付ける基礎づくりに努めます。

### 2 読書環境の整備

子どもたちが、いつでも身近に本やお話に親しみ、調べ学習などができる学習環境を整えていきます。そのためには、町立図書館・学校図書館・地域の図書施設が子どもたちに魅力的なものであるよう、資料・人・設備を充実する必要があります。一方では家庭への働きかけや、おはなし会、ブックトーク、読書相談、体験活動などを通し、子どもたちに本の楽しさを伝えていきます。

### 3 町全体としての連携・協力体制

上記1、2を進めていくためには、学校・園・地域ボランティア・町立図書館・健康保険課など町全体の関連機関が、相互に連携と調整をはかり、協力していくための組織づくりを進めていきます。

### 4 推進計画の期間

計画に基づく事業実施期間は、平成25年度からおおむね5年とします。この間の検証を踏まえ、計画の見直しを行います。

# 平群町子ども読書活動推進のイメージ図

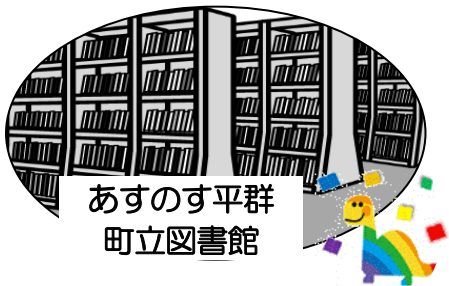
ブックスタート



健康保険課



地域のボランティア



あすのす平群  
町立図書館

平群町子ども読書活動  
推進ネットワーク

↑ 協力・支援 ↓

学校図書館連絡会

↑ 協力・支援 ↓

↑ 協力・支援 ↓



子ども・家庭



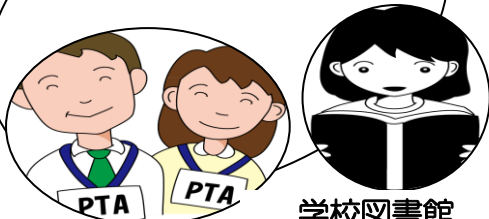
小学校・中学校



幼稚園・保育園



子育て支援センター



PTA

PTA

学校図書館  
ボランティア

平群町子ども読書活動推進委員会